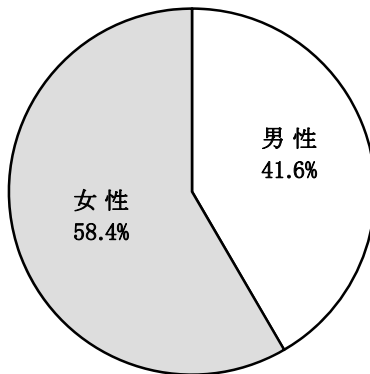


# 中心市街地活性化に関するアンケート調査結果

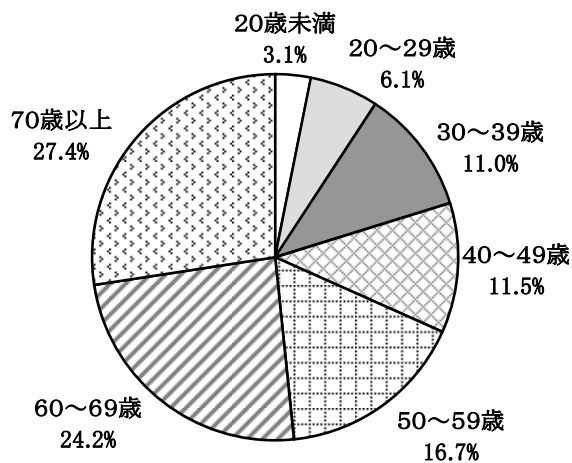
## 《属性》

(無効・無回答を除く)

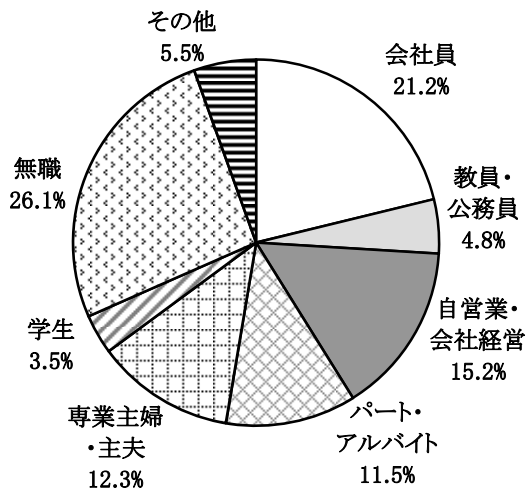
性別 (n=1514)



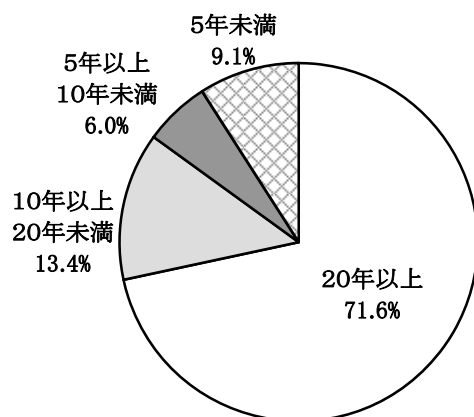
年代 (n=1514)



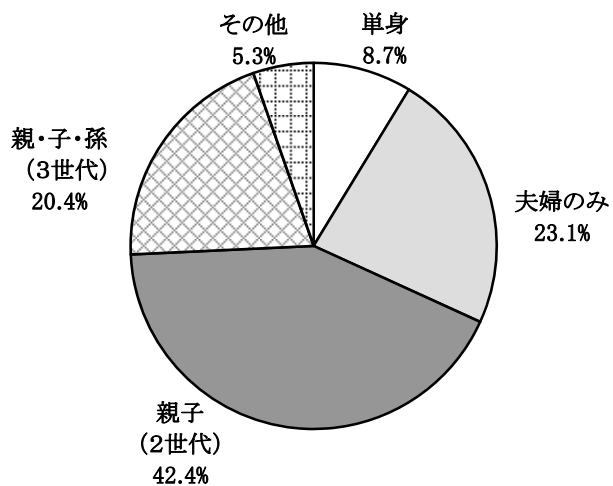
職業 (n=1510)



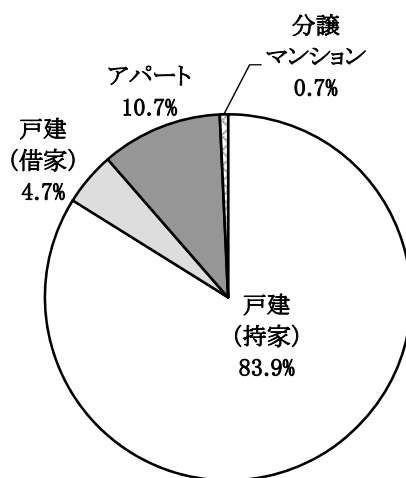
在住歴 (n=1512)



家族構成 (n=1515)

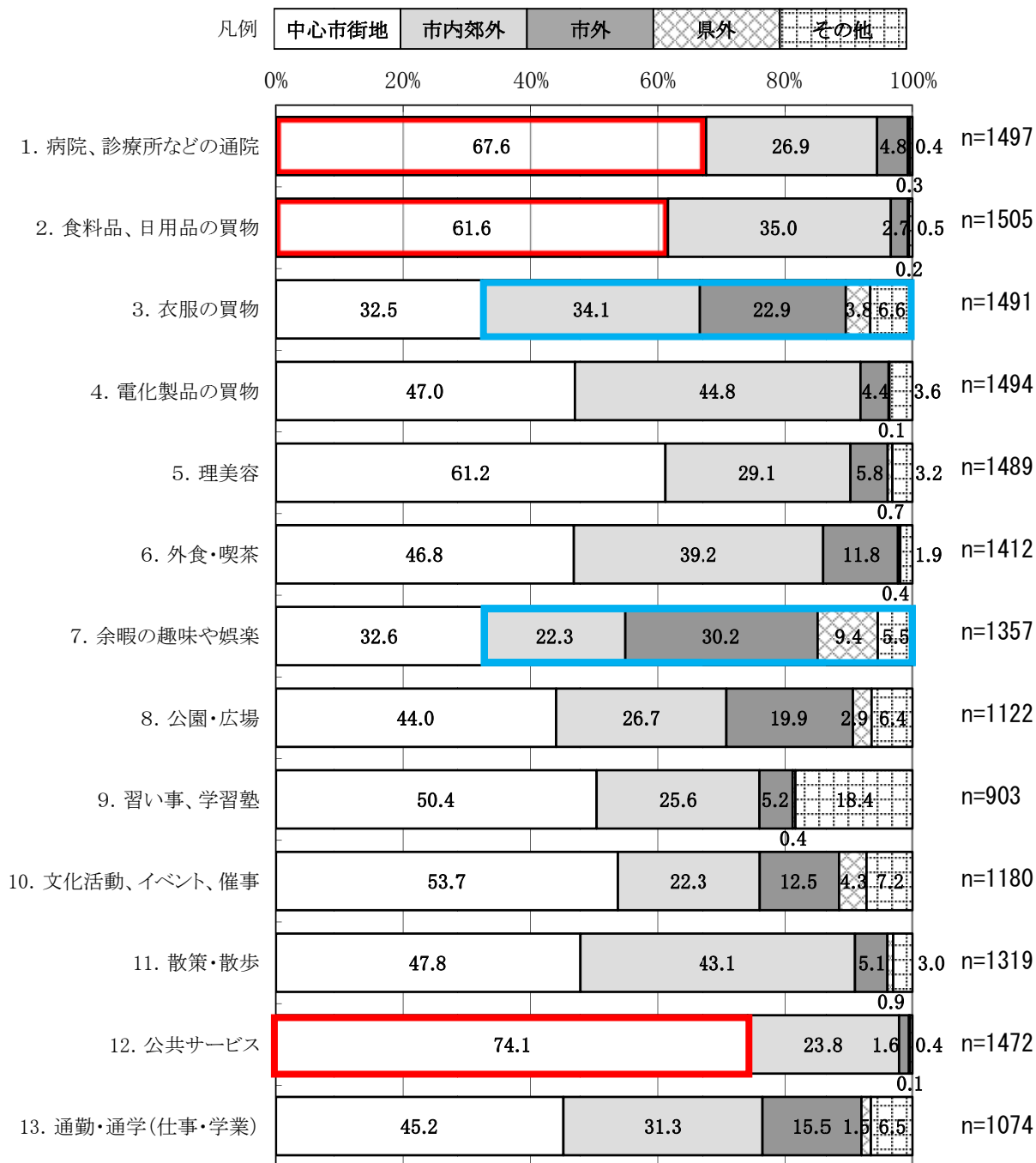


居住スタイル (n=1508)



設問 1) 通院、買い物等をされている主な場所はどこですか。

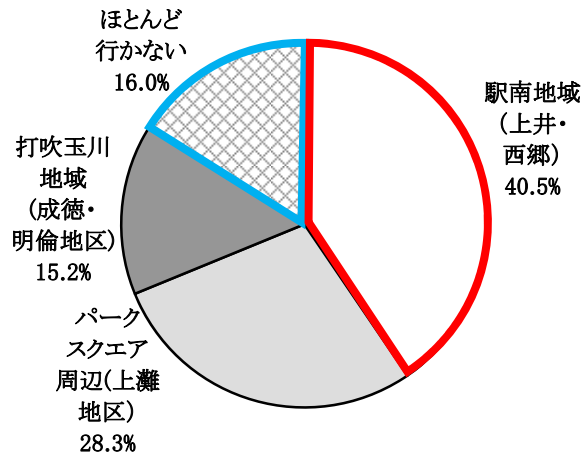
必要な  
や市外、



設問 2) 主に市街地のどの辺りに出かけられるか教えてください。 (n=1465)

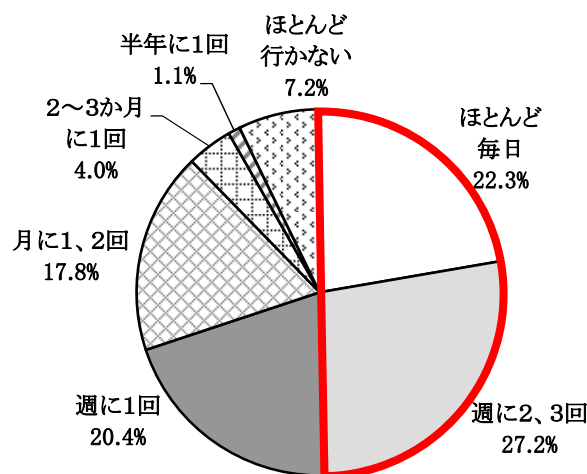
市街地では、主に駅南地域（上井・西郷）へ出かける方が 40%と最も多く、次いで、パークスクエア周辺（上灘地区）となっている。歴史的エリアである打吹玉川地域へ出かける人は最も低い結果となっている。

一方、ほとんど市街地へ行かないと答えた方も 16%と多く、市街地の魅力不足を示す結果となっている。



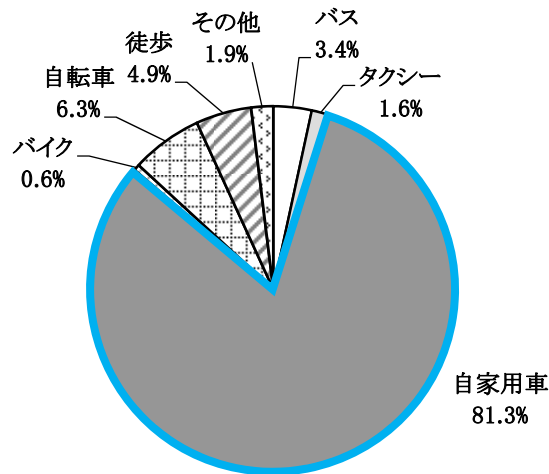
設問 3) 中心市街地に出かける回数を教えてください。 (n=1512)

中心市街地に出かける頻度は、週に 2、3回という人が 3割近くと最も多い結果となり、次いで、ほとんど毎日と答えた方が多い結果となっており、中心市街地を利用する人のほぼ半数の方が週に 2、3回以上は中心市街市に出かけていることが分かる。



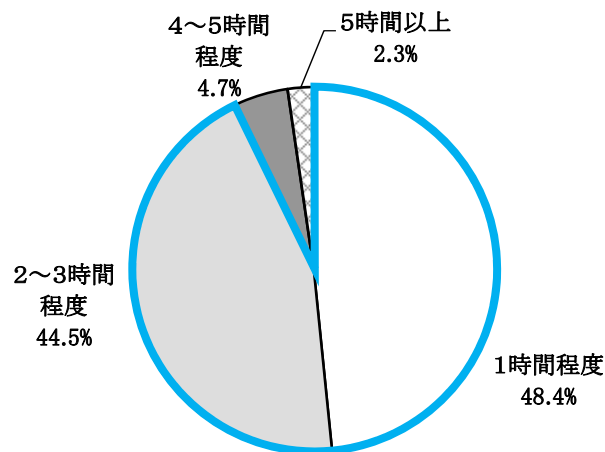
設問4) 中心市街地に出かける主な交通手段は何ですか。(n=1446)

中心市街地に出かける交通手段としては、自家用車が8割以上となり、主要な交通手段が車であることが分かる。



設問5) 中心市街地に出かけた場合(通勤・通学以外)の平均的な滞在時間を教えてください。(n=1475)

滞在時間は、約半数の方が1時間程度の非常に短い滞在時間となっており、次いで、2～3時間程度が44%と、9割以上の方が2～3時間以内の滞在時間という結果になっている。

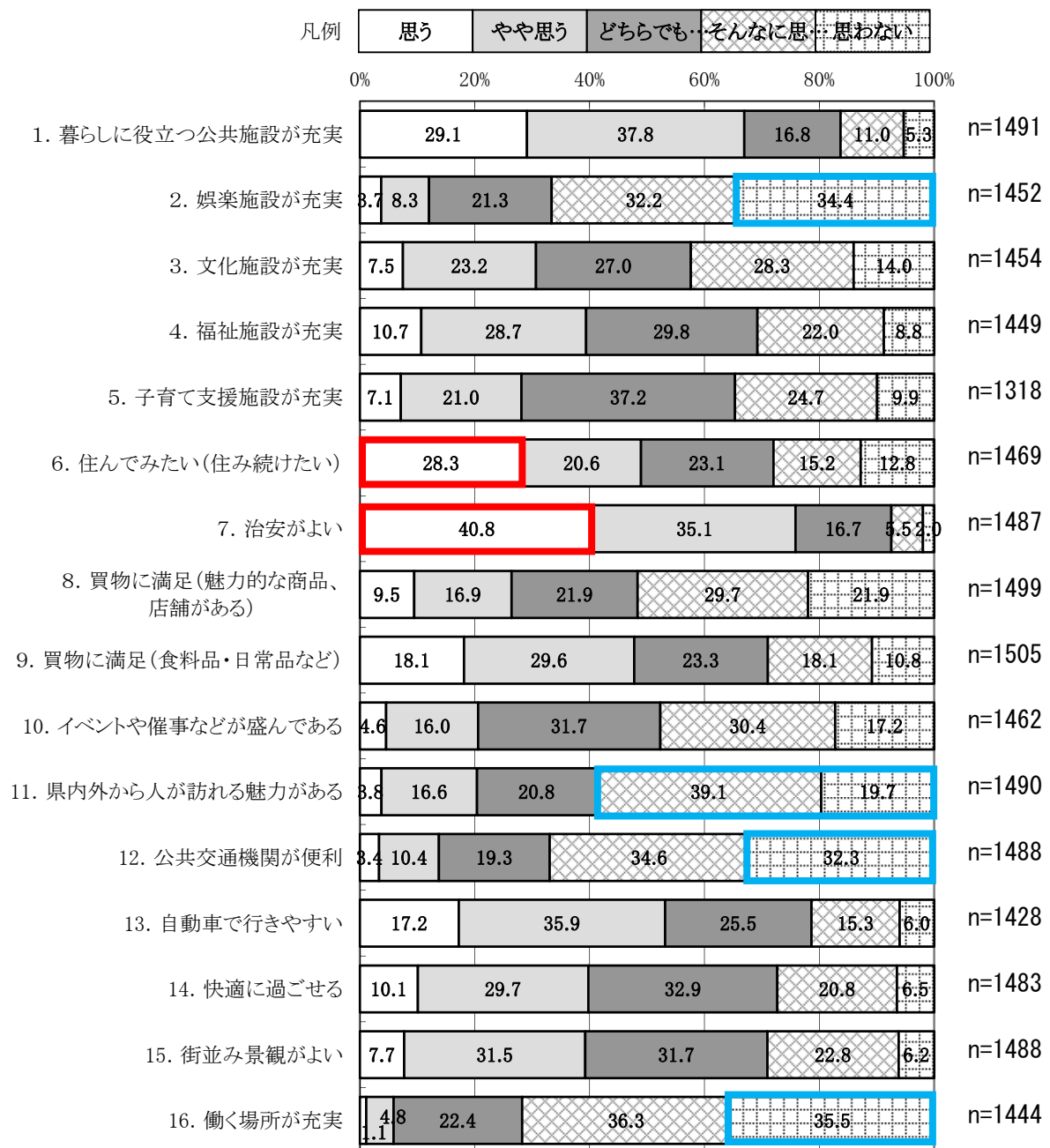


設問6) 現在の中心市街地の状況について、どのような印象をお持ちですか。

<全体>

中心市街地の状況で肯定的な結果となったのは、『治安』についてで、4割以上の方が良いと考えている。また、『住んでみたい・住み続けたい』という回答も約3割と、住環境への満足が見える結果となっている。

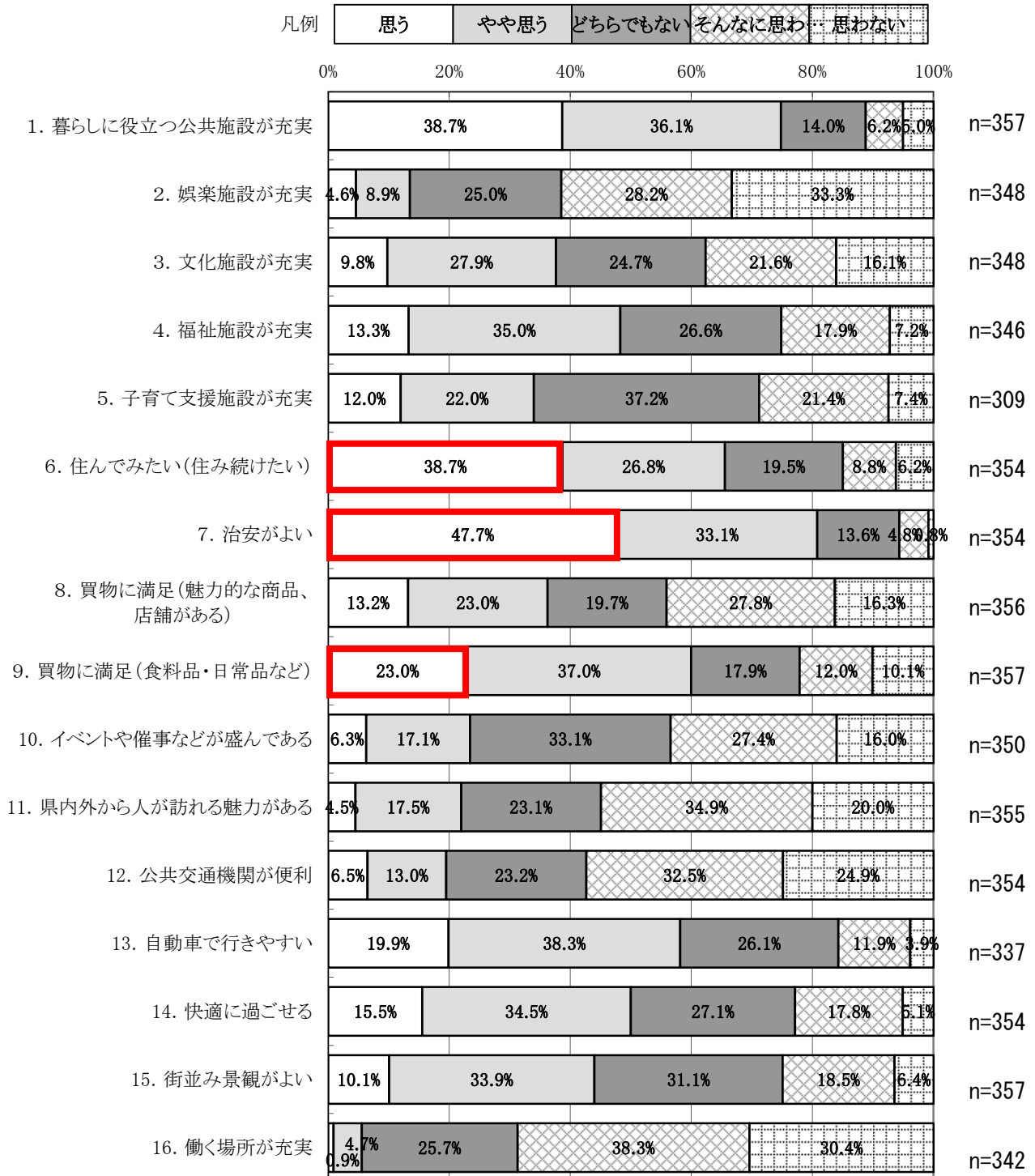
一方、『働く場所の充実』や、『娯楽施設の充実』、『公共交通機関の利便性』などへの不満が多く、約35%以上の方が思わないと答えている。また、『県内外から人が訪れる魅力』についても、否定的な回答が多く、6割近くの方がそれほど思わない、思わないと回答しており、中心市街地の魅力不足が指摘されている。



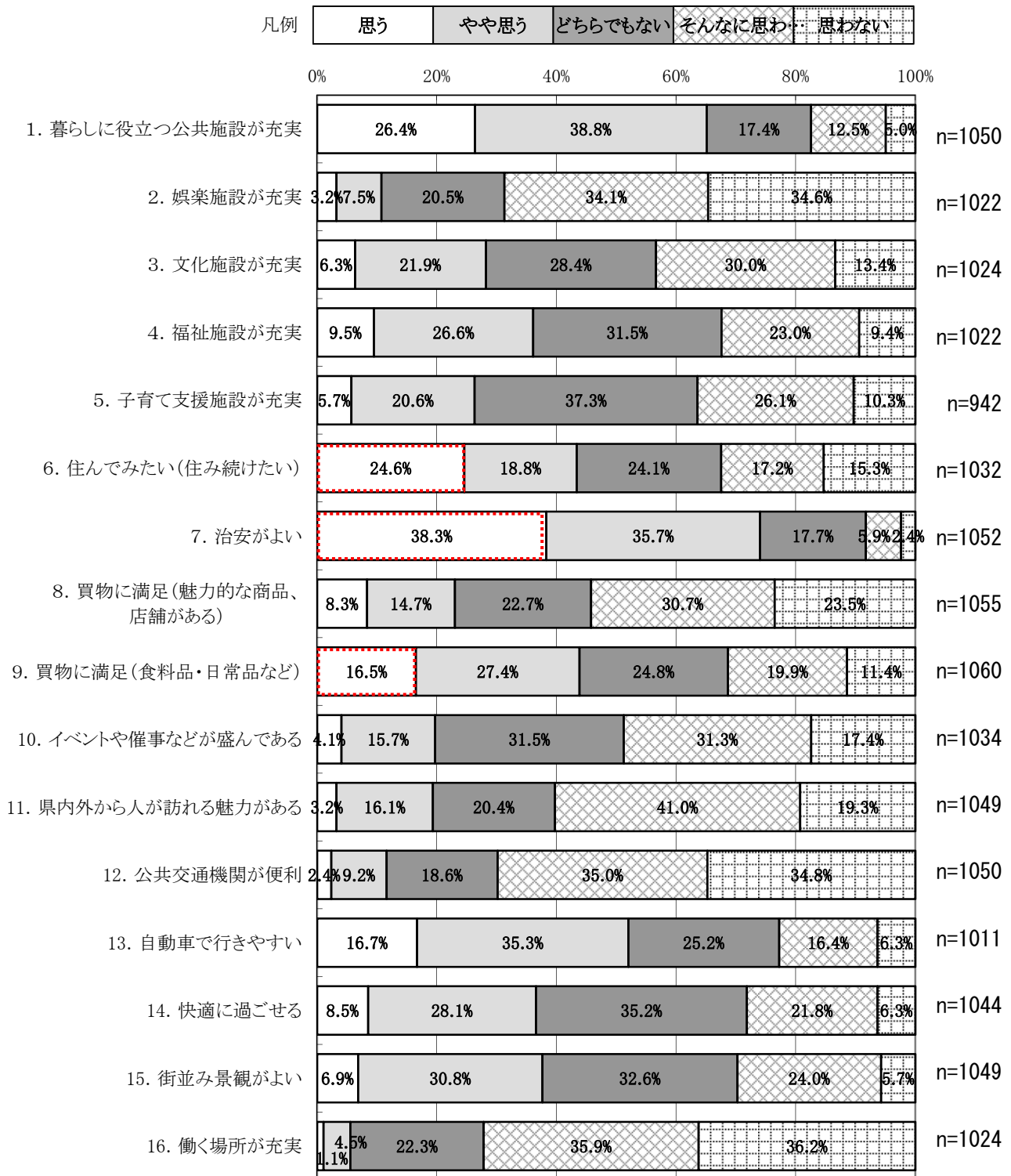
<地区別：中心地区／中心地区以外の地区>

地区別に大きな差は出ていないが、中心地区ではそれ以外の地区に対して、『治安が良い』、『住んでみたい・住み続けたい』という結果が少し強く出ている。また、『買い物に満足（魅力的な商品、店舗がある）している』という回答も多くなっている。

■中心地区



■中心地区以外の地区

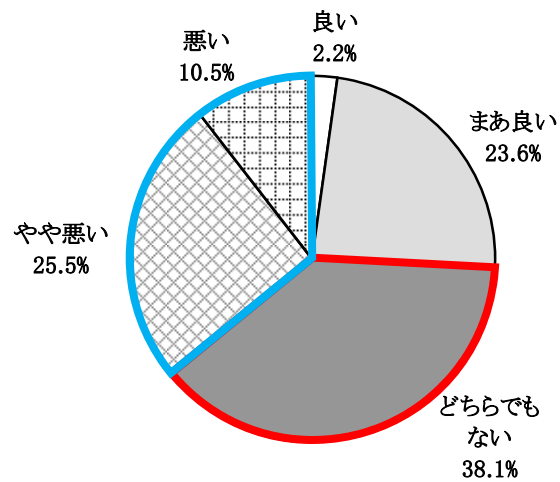




設問7) 現在の中心市街地全体の印象について、どう思われますか。

(n=1400)

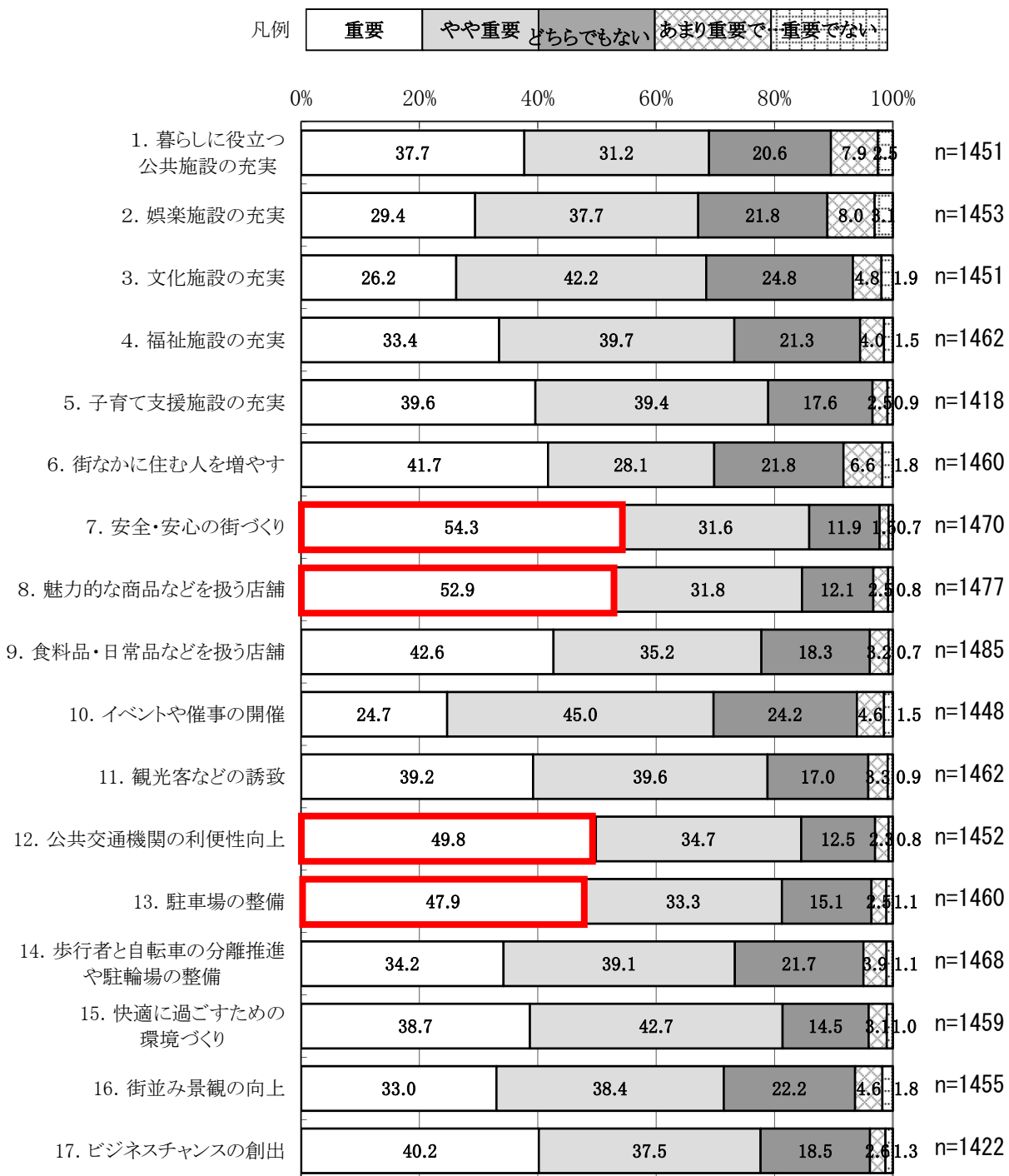
印象については、どちらでもないと回答した方が約4割で最も多い結果となっている。次いで、やや悪いという回答が多く、悪い印象を含め35%以上の方が否定的な印象を持っている結果となっている。



設問8) 今後、中心市街地を活性化するために重要だと思われるものは何ですか。

<全体>

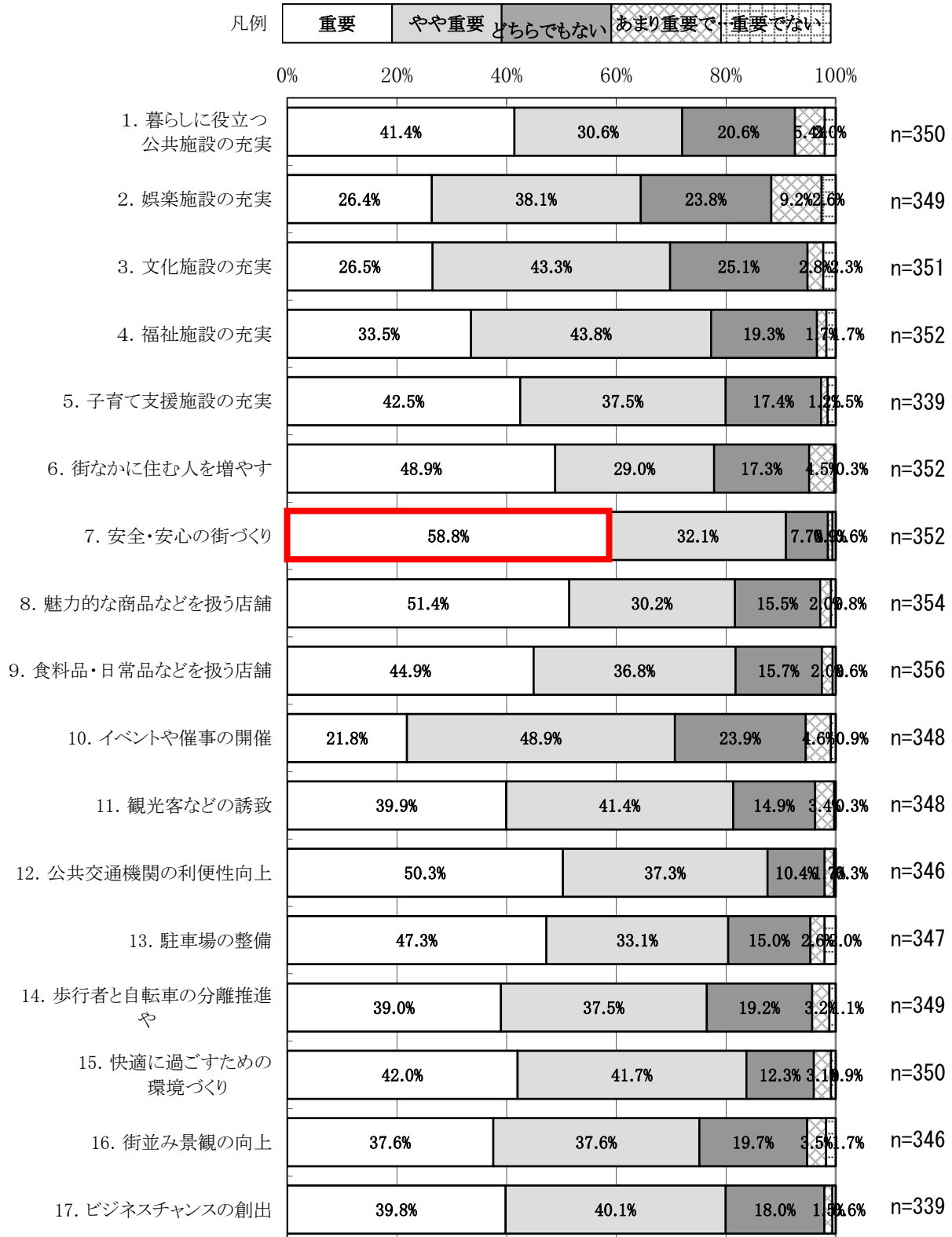
活性化のために重要なこととしては、『安全・安心の街づくり』が重要という回答が54%と最も多く、次いで、『魅力的な商品などを扱う店舗』が53%と多い。また、『公共交通機関の利便性』向上へも半数近くの回答があった。一方で、『駐車場の整備』への回答も多い結果となっている。さらに、やや重要という回答を含めると、『快適に過ごすための環境づくり』も8割以上の方が回答しており、まち自体を楽しむことができる面的な環境づくりの重要性も示されている。



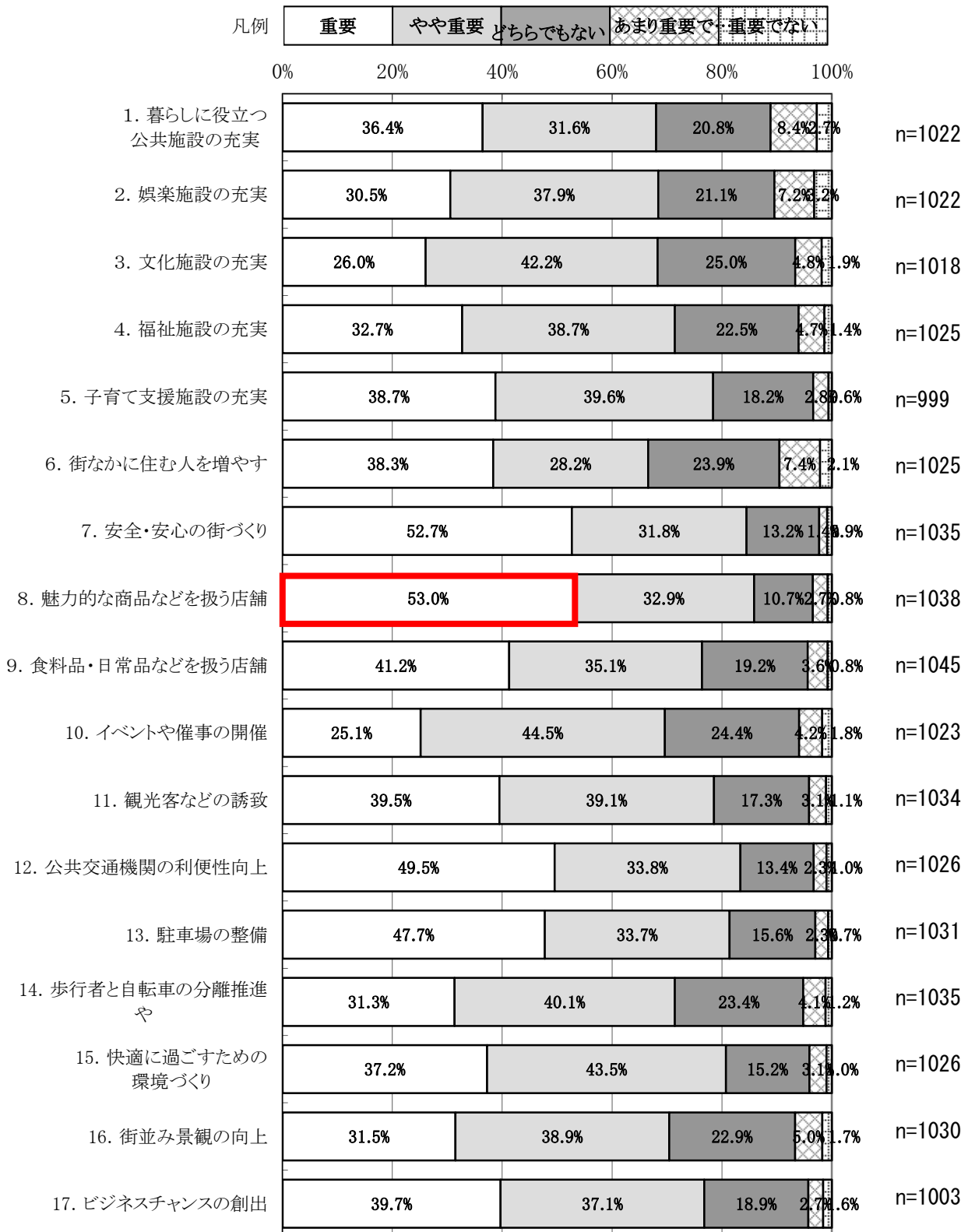
<地区別：中心地区／中心地区以外の地区>

全体として大きな差はないが、中心地区とそれ以外の地区では、一番重要と思うものが異なる結果となっており、中心地区では、『安全・安心の街づくり』が最も多く（約59%）、中心地区外では、『魅力的な商品を扱う店舗』（約53%）となっている。

■中心地区



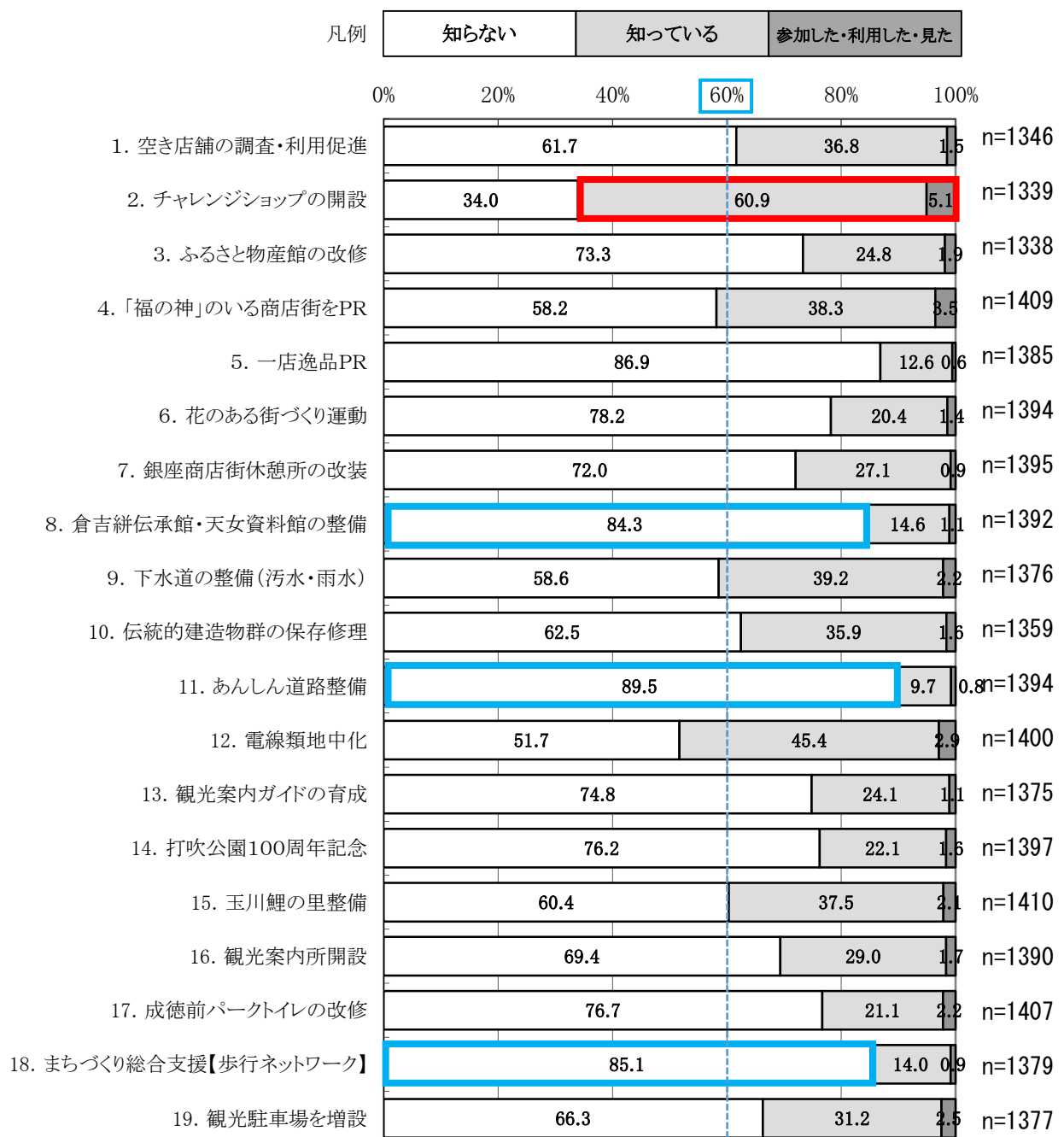
<地区別：中心地区以外の地区>



成徳地区を中心市街地については、観光地等の地域資源を活用した地域活性化のため、平成14年11月に「倉吉市中心市街地活性化計画」を策定し、以下の事業に取り組んできました。

設問9-1) これらの事業について「左の欄」の中からあてはまる数字を1つ選んでください。

事業の認知度としては、全体的に低い結果となっており、ほとんどの事業について約6割の方が知らないと答えており、なかでも、『安心道路整備』や『一店逸品PR』、『まちづくり総合支援【歩行ネットワーク】』、『倉吉緋伝承館・天女資料館の整備』についての認知度が非常に低くなっている（8割以上が知らない）。一方で、『チャレンジショップの開設』は最も認知度が高く（6割）、利用者も多い結果となった。



成徳地区を中心市街地については、観光地等の地域資源を活用した地域活性化のため、平成14年11月に「倉吉市中心市街地活性化計画」を策定し、以下の事業に取り組んできました。

設問9-2) 「左の欄」で「2 知っている」「3 見た・利用した・参加した」を選んだ事業について、これらの事業は、成徳地区を中心とする市街地の活性化に成果があったと思いますか。

「右の欄」の中からあてはまる数字を1つ選んでください。

事業の成果としては、『電線類地中化』や『成徳前パークトイレの改修』、『観光駐車場の増設』、『下水道の整備』に対して、約6割以上の方が成果があると回答しており、目に見えるインフラの整備についての評価が高い結果となった。一方で、『銀座商店街休憩場の改装』については、約18%の方が成果はなかったと回答する結果となった。

